

令和3年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和3年1月14日

上場会社名 株式会社 エスケイジャパン 上場取引所 東
 コード番号 7608 URL <https://www.sk-japan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八百 博徳
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 石井 正則 TEL 03-6660-5005
 四半期報告書提出予定日 令和3年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年2月期第3四半期の連結業績（令和2年3月1日～令和2年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年2月期第3四半期	4,008	△16.8	195	△57.4	199	△56.7	192	△57.1
2年2月期第3四半期	4,820	△5.0	459	△32.2	460	△32.7	450	△25.6

(注) 包括利益 3年2月期第3四半期 210百万円 (△53.9%) 2年2月期第3四半期 455百万円 (△25.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年2月期第3四半期	22.87	—
2年2月期第3四半期	53.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年2月期第3四半期	4,511	3,458	76.6	409.73
2年2月期	3,901	3,318	85.1	394.82

(参考) 自己資本 3年2月期第3四半期 3,458百万円 2年2月期 3,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年2月期	—	4.00	—	6.00	10.00
3年2月期	—	4.00	—		
3年2月期(予想)				4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

令和2年2月期期末配当金の内訳 普通配当4円 30周年記念配当2円

3. 令和3年2月期の連結業績予想（令和2年3月1日～令和3年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	△21.3	150	△75.4	150	△75.5	150	△71.6	17.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	3年2月期3Q	8,490,103株	2年2月期	8,490,103株
② 期末自己株式数	3年2月期3Q	49,775株	2年2月期	84,142株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	3年2月期3Q	8,436,867株	2年2月期3Q	8,354,917株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、「企業収益の向上」「雇用・所得環境の改善」等による緩やかな回復基調から一転し、「人手不足による物流費の高止まり」と「消費税増税後の消費環境の悪化が顕在化」に加え、昨年2月以降の「新型コロナウイルス」の世界的な感染拡大により目を追うごとに国内外の経済に深刻な影響が及んでいるため、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループは売上・利益とも前年同期の実績を大きく下回り、当第3四半期連結累計期間の売上高は、4,008百万円（前年同期比16.8%減）、営業利益は195百万円（前年同期比57.4%減）、経常利益は199百万円（前年同期比56.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は192百万円（前年同期比57.1%減）となったものの、利益面では賞与を始めとする人件費、海外への渡航費を含む旅費交通費その他諸経費の大幅削減効果により当初の業績予想を上回る結果となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

<キャラクターエンタテインメント事業>

キャラクターエンタテインメント事業におきましては、昨年春に新型コロナウイルス感染拡大の影響より取引先店舗の臨時休業が相次いだ事により、定番キャラクターの受注が大幅に減少した事と取引先からの強い要請により受注済みの商品の出荷を順延させた事に加え、不安定な市場環境下での新規コンテンツの発売を延期した結果、売上高2,151百万円（前年同期比35.0%減）、営業利益139百万円（前年同期比66.4%減）となりました。

<キャラクター・ファンシー事業>

キャラクター・ファンシー事業におきましては、昨年春に新型コロナウイルス感染拡大の影響より大部分の取引先が臨時休業を余儀なくされただけでなく、営業再開以降も来店客数が伸びないことが定番キャラクター商品の売上が落ち込む一因となりましたが、人気漫画「鬼滅の刃」商品の販売が非常に好調であった事と、バスボール（フィギュア入り入浴剤）、マスク関連商材である「マスクケース」の販売が好調に推移した結果、売上高1,857百万円（前年同期比22.9%増）、営業利益56百万円（前年同期比26.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて610百万円増加し、4,511百万円となりました。これは主に、電子記録債権の減少額211百万円により一部相殺されたものの、現金及び預金の増加額678百万円、商品の増加額98百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて470百万円増加し、1,053百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加額500百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて139百万円増加し、3,458百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加額108百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、令和2年4月14日に公表いたしました令和3年2月期（通期）の連結業績予想を修正いたしました。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日（令和3年1月14日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,297,032	2,975,094
受取手形及び売掛金	747,081	682,545
電子記録債権	278,584	67,532
商品	242,604	341,499
その他	96,037	164,555
貸倒引当金	△215	△252
流動資産合計	3,661,126	4,230,974
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,697	14,697
減価償却累計額	△13,808	△14,697
建物及び構築物（純額）	888	0
その他	156,585	173,301
減価償却累計額	△124,522	△145,510
その他（純額）	32,062	27,790
有形固定資産合計	32,951	27,790
無形固定資産	52,813	43,462
投資その他の資産		
投資有価証券	44,645	75,320
退職給付に係る資産	42,796	45,489
繰延税金資産	55,253	76,507
その他	18,030	13,411
貸倒引当金	△6,036	△962
投資その他の資産合計	154,688	209,766
固定資産合計	240,453	281,019
資産合計	3,901,579	4,511,993

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	290,994	306,127
短期借入金	—	500,000
未払法人税等	44,198	—
賞与引当金	22,260	37,910
その他	181,210	165,543
流動負債合計	538,662	1,009,580
固定負債		
執行役員退職慰労引当金	907	1,670
その他	43,175	42,450
固定負債合計	44,082	44,120
負債合計	582,745	1,053,700
純資産の部		
株主資本		
資本金	461,997	461,997
資本剰余金	494,622	494,865
利益剰余金	2,383,450	2,492,243
自己株式	△32,184	△18,903
株主資本合計	3,307,884	3,430,203
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,684	32,921
繰延ヘッジ損益	1,115	△1,345
為替換算調整勘定	△2,850	△3,487
その他の包括利益累計額合計	10,949	28,089
純資産合計	3,318,834	3,458,292
負債純資産合計	3,901,579	4,511,993

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成31年3月1日 至令和元年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和2年3月1日 至令和2年11月30日)
売上高	4,820,336	4,008,968
売上原価	3,220,687	2,781,505
売上総利益	1,599,649	1,227,463
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	316,722	304,719
賞与引当金繰入額	54,186	37,910
退職給付費用	18,085	8,354
執行役員退職慰労引当金繰入額	660	762
荷造運搬費	255,515	214,132
貸倒引当金繰入額	28	522
その他	495,196	465,540
販売費及び一般管理費合計	1,140,393	1,031,942
営業利益	459,255	195,520
営業外収益		
受取利息	53	20
受取配当金	590	600
賃貸収入	929	1,055
雇用調整助成金	—	1,816
その他	220	1,095
営業外収益合計	1,793	4,588
営業外費用		
支払利息	—	661
為替差損	831	—
その他	4	50
営業外費用合計	836	712
経常利益	460,212	199,396
特別損失		
固定資産売却損	127	—
特別損失合計	127	—
税金等調整前四半期純利益	460,084	199,396
法人税、住民税及び事業税	75,650	35,362
法人税等調整額	△65,841	△28,956
法人税等合計	9,808	6,405
四半期純利益	450,276	192,990
親会社株主に帰属する四半期純利益	450,276	192,990

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成31年3月1日 至 令和元年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和2年3月1日 至 令和2年11月30日)
四半期純利益	450,276	192,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,713	20,237
繰延ヘッジ損益	2,001	△2,461
為替換算調整勘定	△105	△636
その他の包括利益合計	5,609	17,140
四半期包括利益	455,886	210,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	455,886	210,130
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(追加情報)

当社グループは、令和2年2月末時点において、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、経済や生活行動等に広範な影響を与える事象であり、1年程度その影響が続くもの」と想定しておりましたが、令和3年2月期第3四半期末時点においても引き続き各種経済活動の制約条件となっており、令和3年3月以降も1年程度その影響が続くものと、新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定を修正しております。当該仮定に基づき、繰延税金資産（76,507千円）の計上にあたっては、将来の課税所得の見積を行い回収可能性の判断を行っております。

なお、当該仮定は不確実性が高く、新型コロナウイルスの感染拡大の状況やその経済への影響が当初の想定より変化した場合には、繰延税金資産が減額され税金費用が計上される可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成31年3月1日 至 令和元年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,308,830	1,511,505	4,820,336	—	4,820,336
セグメント間の 内部売上高又は振替高	75	153	228	(228)	—
計	3,308,906	1,511,658	4,820,565	(228)	4,820,336
セグメント利益	414,923	44,331	459,255	—	459,255

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 令和2年3月1日 至 令和2年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,151,318	1,857,650	4,008,968	—	4,008,968
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	85	85	(85)	—
計	2,151,318	1,857,735	4,009,054	(85)	4,008,968
セグメント利益	139,480	56,040	195,520	—	195,520

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。